

仙台市文化芸術活動に関するアンケート調査結果

令和5年8月

調査実施概要

【調査目的】

「（仮称）仙台市文化芸術推進基本計画」の策定に向け、仙台市内を中心に文化芸術活動を行っている方々の課題、およびニーズ等を把握する。

【調査対象者】

仙台市を主な活動の場として、文化芸術活動を行っている団体、事業者、個人
（本市助成事業（公演・展示活動助成事業※）の直近の採択団体および個人 他）

※広く一般の観客を集めて実施する、公演・展示・上映会事業で、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、工芸、写真、映像、文学、郷土史、生活文化等の幅広い分野が対象。

【調査方法】

郵送・メール等により対象者へ送付・Web回答フォーム、メール、郵送により回答

【調査時期】

令和5年6月28日（水）～8月18日（金）

【回収結果】

- ◆ 配布数 192
- ◆ 回収数 70
- ◆ 回収率 36.5%

※(補足)調査結果の「活動の役割」について

創作発表：音楽や舞台芸術、映画等の出演、公演、上演、作品創作（作曲、脚本、演出、振付）、大道芸、写真家、舞蹈家、美術やメディア芸術等の
作品創作・発表、その他の創作発表
企画制作：プロデューサー、ディレクター、キュレーター、マネージャー、プロモーター、コーディネーター、中間支援、その他の企画制作
技術提供：照明技術、音響技術、舞台芸術・舞台管理、道具・衣装製作、展示設営、撮影・編集・プログラミング、デザイン、調律、トレーナー、
通訳・翻訳、その他の技術提供
施設運営：ホール・劇場、美術館・博物館、映画館、貸スペース、ライブハウス・クラブ、スタジオ・アトリエ、その他の施設運営
教育研究：教室等の指導者、専門学校・養成所指導者、大学・高等学校の専任教員、批評家・研究者、その他の教育研究
販売：作品販売、楽器販売、ショップ、ギャラリー、古物商、プロモーション、マネージャー
サポート：ボランティア、コレクター、愛好家等

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
1	クラシック音楽	創作発表 その他:質の高いクラシック音楽の普及	5年以上10年未満	チケット代に伴わない演奏をする演奏家が増えている。それにより、クラシック音楽のコンサートというものへの興味・価値が損なわれている。指導者も同様。	若手の音楽家にも経歴問わず、演奏の機会を与えていくこと。 人々が気軽にコンサートに行ける環境を作り上げること。(低価格や服装の自由、ふらっと訪れやすい雰囲気など。)	素晴らしい音楽ホールが建設されることを祈っております。 もちろんとても大変な事ですが、もし、世界に誇れるようなものが建設された場合、町のランドマークになると思いますので、それによって訪れる演奏家、県外から聴きに来るお客様が絶対に増えるので、一流のデザイナー、音響学者、音楽家を揃えて完璧なものを建設していただきたいです。
2	クラシック音楽	技術提供 教育研究	20年以上	毎年の演奏会の会場抽選が競争が激しく、苦戦している。	国内外の文化芸術面でのトップクラスの方や団体を呼んで、文化レベルの向上の機会を提供して欲しい。	今後も市民に寄り添った運営をお願いします。
3	クラシック音楽	創作発表 教育研究	1年未満	東北全体に対して行っている活動なので、特に北東北とのコンタクトが難しく、作曲への関心を広げることが大変である。また、財政的に苦しい状況が続いており、継続した活動を安定的に行うことに不安を抱いている。	私たちが行っているような音楽の創作面の企画をご検討いただければありがたい。演奏関係では、さまざまなコンクールが乱立しており、関心も高まってきている。作曲関係では本来学校教育の現場でなされなければいけないことがほとんどといってよいくらいなされておらず、学習する機会も少ないのではないか。	やはりハード面の確保ではないでしょうか。市長を中心に関係者は、もっと責任を持って、音楽ホールの検討、推進をすべきであって、ずるずると計画を引き伸ばしているのは、彼女らが文化面への理解がないと思われても致し方ないと思います。音楽ができる環境の整備は大切だと思います。
4	クラシック音楽	企画制作 教育研究	20年以上	芸術イベント本番用のホールを予約さす際に競争率が高く、会場の確保がとても難しいです。	広い年齢層の人たちが文化芸術イベントに参加するような導きを、さらに継続して強化していくことが必要だと思います。	・文化イベントの企画や運営に、民間の団体が協働できるような機会を増やしてほしいです。 ・文化事業の委託などに新規事業者が参入できるような機会があれば、ぜひ公開していただきたいです。
5	クラシック音楽	創作発表 教育研究	10年以上20年未満	クラシック音楽の演奏会への興味関心が高まらないように感じております。	気軽に使いやすい、200席程度のホールが増えることを期待しております。新ホール楽しみにしております。	
6	クラシック音楽	創作発表 教育研究	10年以上20年未満	・競争率が高くホールの予約が取れない ・練習場所の確保が難しく(予約が取りづらい、料金が安い)、質の良い練習環境を保つことが難しい ・コンサートの集客が難しい	フリーランスの音楽家・演奏家がより活動できる場を作っていただきたいです。コンサートホールでの演奏会や地域の方々へ向けた公共施設等でのコンサートやイベントを、ボランティアではなく、演奏家たちの出演の対価が支払われる形での仕組みづくりをお願いしたいです。市内在住の音楽家・演奏家が地域に根ざして活動できる基盤が作られれば、仙台市の文化芸術のさらなる発展にもつながっていくと思います。	フリーランスの音楽家・演奏家が活動しやすいコンサートホールがもっとあったら良いのに、とよく感じます。室内楽などのコンサートを開催する際には、個人的に宮城野区文化センターパトナホールがキャパシティや音響ともに最良と感じていますが、競争が激しく希望の日程ではほとんど予約が取れません。同様の音響環境で、200-300席ほどのホールがあれば、演奏家たちの活動の場がもっと増えるのではないかと思います。

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
7	クラシック音楽	創作発表 企画制作	10年以上20年未満	<ul style="list-style-type: none"> 安定した収入を得る手段が少ない。賛助会費だけでは難しいし、チケット収入は少額すぎる。 慢性的なスタッフの人手不足。給与を支払える状況ではないので、アルバイトとして単発で依頼するしかない。 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏の会場が必要。だが大きなホールはもう必要ではないと思う（県民会館と市民会館を残すならなおのこと）。コンパクトで柔軟性のある、しかもクオリティの高い中ホールや小ホールが複数必要。 若手の演奏家が、自分のスキルをアップできるような演奏の機会を供与する。 子供たちに、幼少のころから定期的に生の音楽を体験できる機会をつくる。継続が大事なので地域などとの連携も必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民に「安く」或いは「無料で」音楽を提供するのは、むしろある意味で逆効果かと思われる。演奏者に対する正当な対価を払うという環境をそだててほしい。 仙台フィルの優遇度合いが高すぎるように思われる。もっと市民や大学のオーケストラへのサポートはできないものか。
8	クラシック音楽	創作発表	20年以上	打楽器等の保管場所に多額の費用が必要です。一部のアマチュア音楽団体には無償で市の施設を保管場所として提供されているようですが、市に上記について問い合わせるも具体性のない回答が繰り返されるばかりで、対応に不公平感があります。	在仙のアマチュア音楽団体に対する公平中立な対応	在仙のアマチュア音楽団体に対する公平中立な対応をお願いします。昔から続く団体のみが莫大なメリットを享受できるような構造が続くようでは、市が豊かな音楽文化を醸成する受け皿となるとは思えません。
9	クラシック音楽	その他： 音楽芸術の魅力を広く市民に届けること 上質な演奏をし、クラシック音楽離れをさせないこと	20年以上	実力ある仲間が関東圏在住の為、本番宿泊費、練習交通費などの経費が高いこと。 会場が休日昼間に取れると遠方からのお客様にも来ていただけるが、ホールの抽選当選が難しいこと。	駐車場が少ないのは問題です。 パトナホールは駐車場が少なく、近くの駐車場も少なく困ります。 人がたくさん集まる場所なので改善が望まれます。	シルバーセンターが改装されることはありがたいです。現在トイレがホール内の一つしか無いため、お客様と出演者が休憩時間にトイレに行くと、後半も演奏があるのに、ドレスを着た出演者とお客様が出会う、という珍妙な事態が生じています。
10	クラシック音楽	創作発表 企画制作	5年以上10年未満	毎年の定期演奏会においての特別企画として高校生以下無料企画を実施していますがあまり効果が出ていない。中高校で合唱部のない学校が多く合唱に対しての意識が少ないのではと思われます。校内合唱コンクールはどの学校でも行われているわけですから、部活を作ることに繋げてもらいたい。	合唱文化に絞ってですが、合唱界は高齢化が進んでおります。このままでは極一部の方に偏り合唱文化の存続が危ぶまれます。中学、高校、大学と合唱サークルの発展が望ましい。 対策として合唱指導者の育成を提案します。合唱連盟と連動し音楽教師の合唱指導育成を図るべきです。合唱指導者がいれば自ずと合唱部、サークルが動き出すものと考えられます。隣の福島県では中学、高校で合唱部が宮城県の倍以上になっています。これからの合唱界を担う若い方々の参画が欠かせません。	毎年の演奏会の会場予約に苦慮しています。合唱向けホールとしては1000名から1200名のキャパが欲しいですね。
11	クラシック音楽	創作発表	20年以上	公演会場の確保が非常に困難です。	ピアノ2台がそろっているコンサート用のホールで、客席数300~400くらいの小ホールが複数ほしいです。	目標を持って活動している人たちが長く継続できるような環境作りをしていただきたい。

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
12	クラシック音楽	創作発表 教育研究	20年以上	クラシック音楽愛好者数は限られているうえ、コロナ禍で演奏会から足が遠のき、未だその傾向が続いています。その割に自主公演をする際、いくら切り詰めてもホール代が経費の大半を占め、個人で活動する身として毎回の赤字覚悟で行っており、その為に他で仕事をしているようなものです。	仙台に限りませんが、プロとして活動する演奏家達はこれまでにとてつもない時間をかけ努力を重ねてきています。仙台フィルなどに雇用されず個人で活動する楽器(ピアノや歌など)は特に、いくら学歴があり定評があったとしても経済的に不安定です。その有様を見て、音楽を志しプロの演奏家になろうとする学生が減り、留学して帰ってきたとしても厳しい現実と直面し、残念ながらほかの職業を選ばざるを得ないのです。ヨーロッパのように自治体で音楽学校や音楽大学を運営し講師を公務員として雇用したり、プロの演奏家として保障する制度が無いことは本当に厳しいです。	国際コンクールは仕方がないとしても、せんとくらくで安く演奏会を聴けるという感覚が身についた仙台人にとって我々の自主公演のチケット価格は高く思えるらしく、大変申し訳ないのですが、仙台で活動する演奏家にとって「営業妨害」だと感じている方は少なくないと思います。しかもせんとくらくにもし仙台の演奏家が一部出演したとしても、出演者が偏っているように見えます。
13	クラシック音楽	創作発表 教育研究	1年以上5年未満	練習会場の不足。活動、運営資金の調達。	フリーの芸術家に対する組織作りや多角的な援助。	発表する会場や練習会場を増やして欲しい。
14	クラシック音楽	創作発表 教育研究	20年以上	演奏会開催のための施設予約の競争率が高く、毎年同じ会場で演奏会を開催することができない。演奏会や生徒の活動を宣伝する機会や方法が乏しい。	<ul style="list-style-type: none"> ・良質な演奏家が宮城県(仙台市)を抜かして演奏活動を行う理由を明確にし、改善する。 ・美術館や博物館、音楽ホールなど文化芸術と呼ばれる分野の学びや鑑賞を一箇所(同エリア)で叶えることのできる施設づくりや立地の工夫。 ・芸術を楽しむ心の豊かさを育てる教育法の模索と実施。 ・市民が文化芸術の学びや鑑賞に費やすことのできる経済的フォロー。 	

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
15	クラシック音楽	創作発表 サポート	1年以上5年未満	<p>私たちは、クラシック音楽を中心に主催コンサートを開催し、乳幼児関連施設を訪問しての演奏など、子育て支援活動をボランティアで行っているグループです。メンバーは音楽大学や音楽科を卒業し、現在もピアノやリトミックの講師、コーディネーターなどプロとして活動しています。</p> <p>私たちの演奏は、保育所や幼稚園、児童館などの施設から大人も子供も楽しめ、飽きさせない内容として評価されています。その一方で、演出に欠かせない小道具類（配布用の鈴やマラカス、リトミックスカーフなど）の購入については、主催コンサートや訪問演奏の謝礼から少しずつ貯めた運営資金を使用しています。</p> <p>このため、資金繰りが課題となっています。仙台市の助成金は、備品の購入に使用できる機会が少なく、自由度のある助成金の申請が可能なら、より活動が進展すると感じています。これらの課題を解決すれば、私たちの活動はさらに広がりを持ち、文化芸術活動を通じた地域貢献が可能となると考えています。</p>	<p>仙台市が文化芸術面で力を入れるべき点について、以下のように感じています。</p> <p>まず、若い音楽家の活躍の場を増やすことが必要と考えています。そして、それらの音楽家が音楽に関する仕事で安定した収入を得られる機会を創出することが望ましいです。</p> <p>また、市が文化庁からの委託を受けて運営している「芸術飛行船」について、いくつか疑問を持っています。特にプログラム内容や参加アーティストが旧態依然としたもので、新規アーティストの参入が難しいと感じています。各運営団体に所属しているアーティストが担っているようですが、運営団体に所属するためのプロセスが非常に分かりにくいです。もっと分かりやすくするために、プログラム内容や参加アーティストの選出を公募やオーディションによって行うことで解決可能と思います。</p> <p>また、今年から幼稚園・保育所・こども園・児童館等が対象外となったことに驚いています。これらの施設は資金確保が難しく、しかし乳幼児期の音楽体験活動は非認知機能の向上に大きく関わる重要な活動だと考えています。したがって、これらの施設を再度対象に含め、文化庁からの予算確保が難しいのであれば、仙台市独自の予算を創出することを提案します。</p> <p>そして、乳幼児への音楽体験活動は、若い音楽家にとって最適な活躍の場となります。彼らは子供たちにとって身近で魅力的な存在となり、施設側の負担も減るため、全体として有益な結果をもたらすと考えています。</p>	<p>仙台市の新たな音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点複合施設の開設に注目しており、その運営と選出される人材について、以下のように考えています。</p> <p>まず、事務局人材については、縦割り行政の垣根を越え、真に仙台市の文化芸術推進に熱心に取り組む人々を選びたいと考えています。現在の試験点数重視の採用が主流の外郭団体による指定管理者制度では、既存の音楽ホールの運営と大差ない結果となるのではないかと懸念しています。</p> <p>新たな音楽ホールの運営には、新しい価値観、新しい視点、新しい事業運営を提供できるクリエイティブな人材が求められます。外郭団体のノウハウも重要ですが、一つの団体だけで運営を進めると新鮮な風が吹き込むことは難しいと感じています。そのため、各団体から「移籍してもいい」と思える、やる気と才能を持つ職員を引き抜く・採用試験を行うなどして、より多様な人材を採用することを提案します。</p> <p>そして、人材選定の際には文化芸術活動の経験を加味してほしいと考えています。自身が実際に文化芸術活動に参加し、その現場で何を感じ、どのように対応したのかという経験は、文化施策の進行において重要な視点を提供すると思っています。ぜひご検討ください。</p>

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
16	クラシック音楽	創作発表 教育研究	20年以上	教育的活動のための、市の施設を使用する際の申請においての競争率はハードル高いです。	まずは音楽ホールの新設を強く願います。又、市の主催の演奏会などで、コンクール（国際）関係としては全く関係ないイベントも望みます。〈音楽の都〉とは名ばかりで、国際コンクールとせんくら以外は今は質の高いものは全て山形県や岩手県での開催となり、残念です。	問2で記しましたが、博物館などはとても充実していると思いますが、音楽については、コンクールとせんくら以外は充実していないのが現状です（と思います。）とにかく施設が少ないことや、大きなホール（電力や県民）が今後なくなっていくので、その辺を市でも充実させていってください。
17	クラシックギターによる演奏	創作発表 企画制作	5年以上10年未満	高齢化に伴い団員が減少している。	大きな会場だけではなく、近くの身近な会場で、気軽に鑑賞できるようにできたら良いと思います。	高齢者対象のものを増やしてほしい。市民だよりや、ウェブサイトなどでお知らせして頂いていますが、高齢者が集まる病院などでPRする方法などは、いかがでしょうか。
18	クラシックギター音楽演奏	創作発表	1年未満	・発表会用の会場が取りにくい(土日祝)。 ・出演者、観客の高齢化。 ・チラシを市民センターなどに置いていただく際、何ヵ所も回るのが大変。有料でも良いので、一括で預けられるシステムは考えられないか？	県庁のロビーコンサートなどのように、パブリックな場での発表会場を増やす事は出来ないでしょうか？	ジャズフェス、せんくらなど、毎年開催していただき感謝しております。せんくらの時も、ストリートや駅、デパートを始めとするスペースを活用出来ないでしょうか？ストリートピアノやストリートギターが有っても良いと思いますが。
19	チェロの演奏によるクラシック音楽	創作発表	1年未満	演奏会会場と練習会場の確保が難しく、施設費用も会員の負担となっており、また、演奏会開催に際しての広報についても苦勞しております。	市民の文化活動への支援の拡充をお願いします。特に仙台市市民文化事業団の活動助成制度については、補助金の演奏会の経費に対する上限の拡大、負担割合の軽減、また、練習に対する会場費も補助金の対象経費になることを希望します。	音楽ホールの建設が予定されていますが、整備計画には市民の団体が容易に利用できる練習施設の建設も盛り込んでいただきたいと思います。
20	吹奏楽	創作発表	10年以上20年未満	団員数が少ない、学生との交流が減っている、本番に使用するホールや練習場所の確保が難しい。	改修工事等が重なっても施設が不足しないよう、中規模ホールや練習施設が増えると有り難いです。	楽都仙台、音楽人口が減ってしまわないよう、特に若者の練習場所やプロと関わる機会が増えるといいなと思います。(吹奏楽に限らず)
21	創作和太鼓	創作発表 その他： 子ども達に日本の伝統文化を継承していく	20年以上	仙台市に、商業用でない(商業用でも構わないのですが)アマチュアがコンサートを気軽に開催できる様な会場が少ない事。	例えば、観光姉妹都市の徳島のような、沖縄で言えば「エイサー会館」のような、常設で「すずめ踊り」だったり「ジャズフェス参加者」等(僕達和太鼓団体も含みます)の演奏が見られる施設(機会)を作って欲しいと思います。	市民が、もっと自由に気軽に音楽(芸術、芸能)に触れ合える(参加出来る)場所があれば良いと思います。
22	クラシック音楽・合唱	創作発表	20年以上	ホール・市民センターの改修時期と当たり、練習場所のみならず、公演のための会場確保が困難をきたしています。 ホール使用人数に見合った自動的に関係場所(楽屋等)の使用許可などを柔軟に対応してください。	仙台市+宮城県連携で、文化芸術祭を大々的に支援・拡大のリードをしてほしい。 ジャズフェスや、とっておきの音楽祭などを総合的に支援・拡張・コーディネートしてください。	待ちの支援や施策でなく、時には拾いに行く(例、県の水曜ロビーコンサートなど)ことも、いま以上に積極展開をお願いしたいものです。
23	クラシック音楽(合唱)	創作発表 企画制作	10年以上20年未満	演奏会場の競争率が高く、毎年確保に苦勞している。 仙台市の場合、日立システムズホールコンサートホール以外に選択肢が無い。	中規模(収容人員が数百人程度)のクラシック専用のコンサート会場を作りたい。	練習会場や演奏会場の確保に仙台市市民利用施設予約システムを利用し、使用料は銀行口座からの自動引き落としにしているため、手間がかからず助かっています。会場使用料が半額になる制度もありがたいです。

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
24	合唱活動	創作発表	10年以上20年未満	<ul style="list-style-type: none"> ・通常練習の市民センター予約はスムーズにできるが、コンサートホールは倍率が高く50倍以上になり確保が難しい。 ・市民センター予約地域優先は地域在住利用者に限られているが、団員が増えるにつれ、他の地域からの通って来るメンバーが増えると優先が受けられなくなるのが残念。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光のページェントは全国区の観光イベントなので、実行委員会や商工会だけではなく 資金面も含めて仙台市がもっと積極的に参加して欲しい。 ・合唱や吹奏楽などの祭典があっても良い。 ・仙台市博物館の催しがマンネリ化しているような気がするので、もっと興味ある大がかりな内容を企画し、又、それをテレビなどでも大々的に広報するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体に比べ音楽ホールが見劣りするので、青葉山方面に計画中の音楽芸術ホールを早急に取り掛かって欲しい。 ・今回のアンケート内容には適さないかもしれないが、仙台市の玄関、仙台駅前元さくら野跡地が手付かずの状態でもとても見苦しい。 ・文化芸術の街づくり、街並みづくりに取り組んで欲しい。 ・今回の緑化フェアにより会場だけではなく街が花で飾り付けされてとても良かった。これが一過性のものとして終わらず杜の都・花の都として続けて行きたい。
25	合唱	創作発表	1年以上5年未満	<ul style="list-style-type: none"> ・月4回の練習が月曜日の為、市民センターが使用できず、限られた練習会場の確保（使用料の安い所は特に）が難しい。 ・発表の場に最適な日立システムズホール仙台コンサートホールの競争率は信じられない高さである。パトナホール然り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくやって下さっていると思うが、地元の演奏家など赤字に苦しむ団体をもっと支援して頂きたい。 ・合唱団としては引き続きコンサートの助成をお願いしたい。 	<p>楽都仙台と言いながらコンクールの支部大会、まして全国大会を開催できるホールがない。政令指定都市としても恥ずかしいし残念。2,000席のホールの完成を早く確実なものとして欲しい。</p>
26	合唱	創作発表	5年以上10年未満	<p>大人数の合唱団のため、練習場所の確保が難しい。コロナ感染防止のため、全員が一堂に会するのは日立、震災、太白くらいに限られる。また、メンバーの高齢化が進んでおり、団員数の維持と演奏の質のバランス維持が課題である。</p>	<p>仙台市だけに限ったことではないでしょうが、勤労現役世代の文化芸術活動への参加を促していただければありがたい。例えば、会場を固定して、ジャンルごとの勧誘会（大学の新入生勧誘のような）を開くとか、オンラインに専用サイトをつくり、団体の広報を行えるようにするとか。当団は運営スタッフが比較的充実していますが、他の合唱団では、比較的若手が少ないので、特にネットやICTの活用に苦慮している団体がほとんどのようです。</p>	<p>伝統的な分野に対する施策は重要ですが、新しい分野への取り組みも積極的でないと、文化芸術の裾野は広がらないと考えています。また、例えば、地域での発表の機会である市民センターまつりなどで、ステージ発表とともに演者と観客の交流を図るなど、文化芸術のやりがいや苦勞を語れる場などあれば、自分とはかけ離れていると感じている分野も、より身近になるのではないのでしょうか。</p>
27	音楽 合唱	創作発表 企画制作	20年以上	<p>コンサート会場の確保が困難。抽選に工夫を。</p>	<p>練習会場を安く借りられること、コンサート会場を増やす。各種団体が、活動しやすい環境をつくって欲しい。</p>	<p>これまで一定の支援をいただいておりますが、活動にあたっての経済的負担が増えています。営利目的もある程度仕方ないと思うこともありますが、市民活動が活発になるよう、スポーツに偏らず、環境整備をしていただきたい。</p>

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
28	シャンソンの日本語歌詞での歌唱	創作発表 企画制作	20年以上	年々、若い世代からの興味が減ってきて、現在関わっているものは高齢者ばかりとなっている。これは、公の場で発信する機会のないことが理由と 思っている。	クラシックではないジャンルの音楽、コーラスでもない、演歌でもなく、童謡でもない、ジャズでもない、ポピュラー音楽。 かつて、昭和の時代に日本全国に展開したシャンソン愛好会。かつてのその熱気を忘れずに、今はなき、銀座銀巴里で歌われたなかにし礼訳詩の歌の数々等を忘れられぬよう、絶やすことなく発信し続けてゆくことを微力ながら行っている私達の存在を認識してほしい。	洋楽と言われるものは、クラシック音楽、ジャズだけではなくではありません。昭和30年代にブームといわれた、日本でのシャンソンの流行。戦後流れ込んできた外国の音楽や文化に触れ、そこに憧れを見出し、新たな日本の習合文化となったシャンソン。いつしかそれは、クラシック、歌謡曲と混合されるようになりました。それが、ブームの衰退していった原因の一つと思われます。シャンソンポピュラーは、話すように地声で、喋りを基本的にしたスタイルです。母国フランスでは、クラシック歌手がシャンソンポピュラーは歌いません。ミュージシャンや、唱法が違うからです。このことがあまり強調されていないことに、認識不足を感じています。 銀巴里で10年間歌手として活動していた者として、このことを憂えています。カラオケで上手に歌えると、異文化としてステキな？シャンソンに向かう。何もかもアリの、奇妙なシャンソンが蔓延っています。コンクールと称して、参加費集め、弟子集めの横行。そんな現状を、悲しく寂しく思いながらも、私は私のやり方で突き進んでゆこうと、情熱を持ちながらイベント活動を続けて行きたいと思っています。微力でも、やり続けることだと。
29	ロックバンドのライブ	創作発表 サポート	5年以上10年未満	集客	調べなきゃ分からない公演、イベントが大多数なので宣伝に力を入れるべきだと思います。	助成金等の素晴らしいサポートがあるにも関わらずその存在を知らずに活動しているイベントが多数いると思いますのでこよう助成金の制度等の認知を拡大する動きに期待しております。
30	ROCK (HEAVY METAL HARD ROCK)	創作発表 企画制作	10年以上20年未満	コアなジャンルのため以前から動員が厳しいところがありましたがコロナ禍の影響でさらに厳しくなりました。また地元の若いバンドが少ないのも課題です。	割安で使用できるリハーサルスタジオやライブハウスなどの施設を新設していただければ幸いです。またイベント等の宣伝ツールとかも増やしていただければ嬉しいです。	コロナ禍の厳しい状況の中で会場費助成など本当にありがたく感じています。今後とも微力ながら仙台の音楽シーンを盛り上げて行きたいと思いますので引き続き宜しくお願い致します。
31	音楽	創作発表	20年以上	・活動と仕事との両立 ・予算がかかること	・気軽（手続きや費用・・・など）に音楽を発表できる小規模な施設が増えるといいと思います。	昨年、助成事業の補助を受けましたが、大変助かりました。このような事業があることをもっと早く知っていればと後悔しました。
32	ダンスイベント	企画制作	10年以上20年未満	ターゲットの年齢層へ広く周知して頂ける方法	他自治体と違い、かなり力を入れてくださっていると感じています。これからも継続して頂けるとありがたいです。	年齢、性別に関係なく幅広く、時代に即した“文化”として事業に対して継続してサポートして頂けることを望んでいます。
33	ダンス	創作発表 企画制作	10年以上20年未満	イベント日程被りなどで出演者が少なくなってしまう時があるなど	高齢者の文化活動	
34	フラメンコ	創作発表	10年以上20年未満	騒音・振動の問題から練習できる場所が少ない	騒音・振動が問題とならない練習場所・発表場所の提供	

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
35	舞踊	創作発表 教育研究	20年以上	コロナ禍で外出を控える人が増え、練習出席が消極的になっている。また、少子化により低年齢の入会者が少なくなっている。入会者の確保が課題である。会館の確保も難しい(500から900席数のホール)それと共に他団体とのコラボレーションの場も少なくなっている。考え方の大きな改革が必要だと心から感じている。	舞踊公演には会館が大きく影響する。他県や海外からの公演には、大ホールのステージ面が小さく問題が生じる事が多い。 地元団体には500から900席のキャパ希望が多い状況に対し、実用的な会館が少ない。 簡易の移動客席は、客席に振動が直接伝わり、動きの激しい芸術には不向きである。	グローバル化が進展している現在、仙台市での活動が困難なため、実力者の海外流出が進んでいる。仙台市にプロ活動ができる団体ができる事を望みたい。 一般の公演開催の広報に、掲示協力のフォームがあると、観客動員につながると感じる
36	日本舞踊	創作発表	10年以上20年未満	練習会場の確保。また発表会場の確保。	音楽ホール、多目的ホールはありますが歌舞伎や日舞ができる縦の花道のあるホールや能楽堂など日本伝統文化に対応できる会場がありません。	洋楽ばかりでなく日本伝統文化に力を入れてほしい。
37	次代の舞踊研修者の育成と国内外の芸術文化に対する理解と関心を高め舞踊文化の向上と振興発展を目指す活動	創作発表 教育研究	10年以上20年未満	開催することにより国内外の舞踊研修者の技術向上、次代の舞踊研修者の育成と国内外の芸術文化に対する理解と関心を高め舞踊文化の向上、振興発展と当地域からの文化芸術の創造、発信、普及が期待できる。	国内外の芸術文化に対する理解と関心を高め芸術文化面の向上、振興発展と当地域からの文化芸術の創造、発信、普及に力を入れるべきと思うと共に協力を願う。	集客人数(2,000人)と会場(舞台、楽屋等)がもう少し大きい施設があればと思う。
38	演劇・ピアノコンサート	創作発表	1年未満	資金調達ができず、毎回赤字なので規模が縮小してしまっています。	個人の活動はやむを得ないと思いますが、当方のように「子育て支援」のための企画など目的がある企画に対する助成が少ないです。	仙台市中心部で、200キャパ程度の箱が少ないです。
39	演劇	創作発表 企画制作	1年以上5年未満	経費に対して収益が少なく、外注スタッフを十分に確保できない結果、作品の質が低下および個々の負担が増大する。	経費の内訳や補助率に囚われない補助金・助成金による援助。額面が上がったとしても、対象経費に縛りや補助率の制限があると、結果として赤字化する。	混雑する施設は抽選日を前倒しして欲しい。公演、助成金申請の予定が立てられないため。
40	演劇	創作発表	5年以上10年未満	団員が少ない、少ないが故にやれる台本の幅が狭い。		
41	演劇	創作発表	1年未満	活動場所が極めて限られています。	ピックアップされている団体がいつも同じに感じられます。	「杜の都」としているわりには、福島や山形の方が文化振興度が高いように思えます。 もっと内部で活動している団体に目を向けていただきたいです。
42	演劇	創作発表 企画制作	20年以上	国際的な演劇祭や国際コンクールなどに多数出場し、数々の賞を受賞し高い評価を得ているが、その活動に関しての助成が少ない、イタリアなどから招聘の誘いもあったが資金的に実現できていない。	東日本大震災を経て、その中から生まれた芸術作品を広く市民に公開する場、機会を作るとともに、仙台発のオリジナル芸術作品を全国、世界へ発信する活動。	十年一日の如く現在も古い既成作品を東京から演出家などを招いて公演することがもてはやされているが、芸術はオリジナリティと同時代性が重要だ。地方都市でどこでもやっているような施策ではなく劇都仙台にプライドを持って仙台から世界へ通じるオリジナル作品を発信する施策に取り組んでほしい。

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
43	演劇	創作発表	1年以上5年未満	集客について。新規で一般のお客さまの来場が少ないこと。特に若い世代のお客さまが少ないこと。	〇〇祭のように、いろいろな団体のいろいろな作品をまとめて楽しめる機会の創出。 さまざまなジャンルの方々と横のつながりが持てる機会があると、活動の幅が広がると思う。	助成制度の変更により、少額で多くの団体に助成が行われるようになったのは良いことでもあるが、助成対象が会場費と宣伝印刷費のみになったことでかなり金額自体が制限されてしまっている。 もう少し事業内容や取り組みに対して目を向け、その事業に必要な助成は対応してほしい。
44	演劇	創作発表 教育研究	20年以上	他地域への進出を考えているが、それに合った助成制度が少ない。	既成作品ではなくオリジナル作品の助成を厚くする。他地域での発表の手助け。	法人格の営利目的の団体ではなくあくまで非営利の団体に助成を多くして下さい。
45	演劇	創作発表	20年以上	大切、今だと思っていることと、観客のずれ	仙台市が何をしたいかに尽きる	外から来るものが大切か否か
46	演劇	創作発表	20年以上	活動費を代表個人、チケット収入で賄うしかない状況	助成金の充実。 各劇団の一作品でいいので、クリエイションを完全に支援してくれたらありがたいし、市民も観やすい、観応えのある、観劇の機会となれるのではないかな。	生業として演劇をと考えずらいのは、個人の能力を嘆くばかりですが、コロナ禍時のサポート等ありがたいと感じることも多かったですと感じています。続けて行くのは大変ですが、淘汰されるのも自然で仕方がないですし、無理なく続けて行くだけです。
47	演劇	創作発表 企画制作	20年以上	広い練習会場がなさすぎる。 公演をする舞台面がとれる場所が少ないし、申し込んでも抽選に外れまくる。	ホールの舞台面が取れるリハーサル室をつくってほしい。 音楽ホールだけではなく、演劇やダンスにも広くつかわれるような劇場を作してほしいです。	
48	演劇	創作発表 企画制作	20年以上	・コロナ後、集客が難しくなった。スポンサーも減った。 ・演劇人口（お客さん、俳優志望者）の激減。 このままだと「演劇」というジャンル自体消えてしまうのでは？	・助成の偏りをなくしてほしい。 仙フィル、コンクールに大金を使っているが（なぜ？理由がわからない）、日本の伝統音楽、伝統芸能、演劇等には努力、活力している様子が見受けられない。クラシック音楽への偏重が極端である。 ・地元を大切にしてほしい。 海外や宮城県外からの公演企画には積極的だが、地元から発信する企画には冷たい。もっと地元で活動する文化人や芸術家の卵に光を当て、地元の文化力を育てるべき。才能の東京流出を防ぐ方策を打ち出してほしい。 ・仙台市主催・共催に「公演期間が一週間以上」という規制があるが、これも取り除くべき。一日だけの公演でも内容が好ければ主催・共催を検討できるように改正してほしい。 ・助成金の分配について。「幅広く少額ずつ」→「内容を厳選し、すぐれた内容のもの」にはたっぷり支給するように改正してほしい。	・他の地域と比べて使用料料金が高すぎる。例えば同じ演目を九州の都市で上演した場合、仙台の約1/3で済みます。 ・入場料が高くなると使用料が高くなる今のシステム→無料公演や低入場料の公演が増える→プロが育たない。アマチュアに有利→プロを目指す人は仙台から流出する→文化力の低下、劣化 ・ホール施設にて反響版を使用する場合、入退館時間が短くなるのも非常識。数分でも時間をオーバーすると即料金を徴収される。本来であれば、スタッフを早出・残業させ、利用者には時間を100%利用可にすべき。
49	音楽や舞台芸術	創作発表 企画制作	10年以上20年未満	団員の高齢化と減少 練習場所や発表会会場の確保が難しい	練習場所や発表会会場の増設	青葉山公園への音楽施設の早期建設を希望します

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
50	ミュージカル 創作と上演 地域芸術文化 への貢献	創作発表 企画制作	20年以上	(1)2014年、拠点となるスタジオを建設し、稽古場の確保は出来たが、やはり発表の場である劇場抽選の倍率が高く、望んだ日程が確保できにくい。 (2)文化庁のみならず多くの文化助成の対象に「ミュージカル」というジャンルが余りに少ないのは、甚だ遺憾である。 (3)そもそも仙台市の文化施策における宣伝・告知が、市民に殆ど届いていない印象がある。	(1)日本全国に言える事だろうが、メディアも行政もどうしても中央（東京）からの舞台や有名文化人？を有り難がる傾向にあるのが現実だ。その意味は少なからずあるとは感じるが、地元地域から発信する芸術文化の芽に、もっと注目と支援の手を差し伸べ、機会を与えて頂きたいと願う。 (2)新しい劇場建設への期待は大きいですが、ただ客席数が多ければ良いというものではなく、例えばW. Y. PLAYHOUSE（現リーズプレイハウス）の様なリージョナルシアターとしての在り方に習い、飽く迄も市民（子どもから高齢者まで）が主役の多様な芸術文化活動に劇場が側面から支援し、合わせて子供向け専用劇団や最上級の舞台創作を劇場から生み出せる様なシステム構築とサポート体制を作るべきだと考える。劇場を核とした、地元自らが産み出す市民参加型芸術文化創出の拠点創りである。	(1)16年前、「劇都仙台」とのフレーズに大きな希望を持って札幌から仙台に転出してきたが、残念ながらその期待感是不発に終わった。特に演劇界は閉鎖的で、横の連関が殆ど無く、才能はありながら視野狭窄的な活動に終始している印象を受けて、愕然とした。仙台市には、地元の才能・異能を育てる土壤を作るシステムや異分野の芸術領域とのコラボ・システムの構築に、新たな独自の発想の文化施策を施して頂きたいと願うものである。 (2)客席200から300席の小規模の演劇専用劇場（例えば札幌やまびこ座）が必要だと感じるが、せめて各区ごとに一つ、パトナシアター・クラスの小劇場があると良いかと思う。また、各区の市民センターのステージ？は余りに中途半端な造りの為、せっかくの立地やスペースがありながら、今のままでは宝の持ち腐れである。せめて小規模な舞台上演できる程度の、設備の充実と必要な改修が行われる事を望む。
51	絵画	創作発表 企画制作	20年以上	会員の高齢化が進み、また、若者の美術活動の形態が変わってきたため、会員数が減り、運営が大変になってきた。	若手の後継者を育てるような体制が必要だと感じる。また、そのためにも、発表できる場を、安く提供してくれる協力体制に期待したい。	市の施設として、発表する会場が少なすぎる。メディアテークは、会場がなかなかとれないことと、会場費が高いため、誰もが利用できるものではなく、若者や、個人でも利用しやすい施設が欲しい。
52	絵画展	創作発表	20年以上	会員の高齢化が進み参加する事が難しくなる方もおる。若い方の入会が少ない事が今後の課題。	ジャズフェス、青葉まつり、よさこいまつりなど盛んな一方で、絵画芸術の関連するイベントとその会場が少なすぎる。東北最大の都市としては淋しい限りです。	大きな絵画展、演劇、音楽祭などの会場が欲しいです。
53	絵画の展示	創作発表	20年以上	会員の高齢化である。当会は、美術教師を母体に設立、会員の漸減状態が続いたことから、その後、他業種の出身者も入会するようになった。近年は退会者も増えてきて、会員特に若手会員の勧誘が課題となっている。	文化活動の発表に場が、少ない上に利用料が高額。貴団体の助成は大変な好施策である。	仙台は彫刻のある街を自認していると聞くが、メンテナンスがお粗末ではないかな。たとえば勾当台公園の「母子像」。素晴らしい作品なのにサビだらけでみすぼらしい。文化施策からは逸れるかもしれないが、景観のお粗末さ。仙台駅頭に降り立ち見渡すと、さくら野は論外にしても、ビル屋上の広告塔の残骸は…。旅行者からは、活気のない寂れた街という印象しか、残らないのでは。寂しい！悲しい！
54	現代美術・絵画など	施設運営 販売	10年以上20年未満	宮城県、仙台市が美術に興味をもたない。	各分野ごとのプロフェッショナルな人材の話聞き、それぞれに合った政策をしてほしい。美術がとにかく弱すぎる。東北で一番弱いと思います。わかりやすい公演ごとに入場料のとれる音楽や演劇などが好きなようですが、美術もリサーチしてください。	イベントがない日は仙台に人が来ないような街にしないでほしい。日々もゆったりと文化が感じられる街にしてください。イベントばかりではなく、ゆっくりと考える時間も必要だと思います。
55	絵画	創作発表 販売	20年以上	個人の活動について、地域の一層の支援が必要だと感じます。	高齢化と少子化が深刻で芸術を担う作家に対する具体的な支援があると良いと思います。	文化芸術の乏しい町は魅力がない町になります。積極的な金銭的な支援が必要です。特に個人には支援が必要です。※せんだいメディアテークの存在はありがたい。高く評価したいです。

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
56	アート、芸術、人形、絵画、立体アート	創作発表 企画制作	5年以上10年未満	ギャラリーに立体作品展示の為に台がないなどハードルが高く難しい。 予算がない為に専門家を呼んでワークショップや勉強会をすることが難しい。	鑑賞力を高める為のワークショップや勉強会。	
57	彫刻	創作発表 教育研究	10年以上20年未満	アトリエ確保が難しい。展示する際の費用の調達に苦労する。	作品の買い上げ(収蔵・コレクション) 行政が主体となってアートイベントを興す(リボンアートフェスのような)	
58	書道	創作発表 技術提供	20年以上	他団体同様会員が減少しており、書道の魅力や楽しさを広くお伝えしたり、書道展をこれまでどおり行っていくことができるのか懸念されるようになってきています。また、発表の場としてのギャラリーは、仙台の中で、一定の広さを確保できる場所は限られており、長期修繕等が入ると、場所の争奪戦になったりすることもあります。また、使用料も安くはなく、予算をどう確保していくかも課題ではあります。	仙台市が広く文化芸術活動を応援していると感じています。特に音楽などは様々な企画が展開され、盛り上がっていると感じます。壁面を使った鑑賞が主な書道も、これまでの枠、活動にとどまらず、広く展開していくことも必要であると思っていたところです。できれば、音楽以外のジャンルについても広く展開していければ文化都市仙台として、更に盛り上がっていくものと考えます。	可能であれば、使用料についてはもう少しご配慮いただければありがたいところです。
59	文芸	創作発表	20年以上	・芸協の活動に参加していて、特に感じることは、文学活動に参加されている方の高齢化です。文学活動の裾野を広げるための公募活動もいたしておりますが、限界があるように思います。 ・学校授業への実作者の参加など、システムとして考えられないでしょうか。小・中・高でそうした授業が実施され、そこで作られた作品を評価する(賞などの提供)とともに、紙(雑誌)、ネット、SNSでの広報を加えることで、広く全国に拡散させることが可能だと思います。	・実作者の発表の機会を支援する。費用の負担。 ・若い時から参加できる。そして発表のサポートを受け、全国区あるいは世界的なアーティストになるまでのサポートのシステム化。今は全て個人が家庭の時間とお金の負担となっている。オリンピック選手の育て方を参考にできないだろうか。 ・文学で言えば晩翠賞本賞を止めたのは市が文化への理解のなさを露呈したように思う。予算のせいか詳細は知りませんが、全分野ではなくともこうした賞は市の文化度を示すものとして大切に思います。 ・文学館での現役実作者の小企画展などの開催もあってもいいのではないのでしょうか。	・仙台市美術館の設立 コンセプトを明確にすれば世界中から人を呼べる。(金沢21世紀美術館のように) ・仙台城の復元(枠内だけでは不足)本格的なもの。 ・伊達文化賞(伊達の発祥の地)どの分野の何をやるかを考えれば全国的なものになる可能性がある。
60	障がいのある方の芸術作品の公募展開催	創作発表 企画制作	5年以上10年未満	開催準備、および開催期間中のスタッフの確保が難しい。活動費用の捻出に苦労している。	一般の方の関心や興味を育むような勉強会や講座があると広がると感じます。	少しずつでもできる施策を続けていくことで市民の関心や文化への関心が根付き、仙台市のカラーとなっていくことを期待しています。他の地域とのコラボやつながりになっていくと文化を通したコミュニティや楽しみになり子供からお年寄りまで参加しやすいのでそういった企画をお願いしたいです。
61	障がい者のアート活動	創作発表 販売	1年未満	・障害者を支援する施設職員のアートについての研修の機会 ・障害者本人の支援や活動継続に係る経済的負担	アーティスト(障害者本人)の表現する機会創出に係る支援(情報提供・企業とつなぐ支援・広域的なイベント企画や活動への助成)	何よりもアーティスト(障害者本人)の活動や作品に寄り添ったものであることを願います。
62	「仙台すずめ踊り」	創作発表 その他: 仙台すずめ踊りの普及・指導	20年以上	・仙台市内の小中学校並びに児童館等で「仙台すずめ踊り」の普及・指導活動を実施しており、「仙台・青葉まつり協賛会」を通じて10,000円/回の補助が支給されているが、機材搬入から指導業務を考慮した場合、人数割りすれば交通費程度に留まる状態です。 ・連盟祭連会員が個々に市民施設を練習会場として確保する場合、太鼓の音に対する近隣の苦情のため使用が出来ないことが多々ある。	・「仙台すずめ踊り」の普及活動として連盟独自に企画し、宮城縣護国神社のご了解のもと、青葉城址において6月から10月の日曜日に十数回の演舞披露を実施している。このような機会を仙台市として通年で企画できないか。	

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
63	民族芸能の保存、継承	創作発表	20年以上	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化による指導者の不足 ・少子化による会員の不足 	他団体との交流の場を増やしていただきたい。マンネリ化しつつあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会をむかえている現在、文化はとても大切で重要と考えます。 ・交流の場を増やしていただき、生きがいをづくりをしていきたい。
64	民俗芸能の保存伝承	その他:民俗芸能の保存伝承	20年以上	少子高齢化が急速に進むことにより、踊り手となる子供の確保が年々困難になっていることや活動を支える役員の高齢化によって、保存伝承活動に大変苦慮している。	民俗芸能の保存伝承に関し、児童、生徒が理解を深めるような取り組みに消極的であると思われる。他県では、部活動に取り入れて発表会も盛大に開催されている例もある。貴重な地域資源を未来に繋いでいくためには、小中高の協力が欠かせないので、働き掛けをお願いしたい。	声の大きい一部団体への支援に偏ることなど無いよう、公平な施策の推進を願います。
65	漫画制作、コラム執筆、民俗芸能支援(笛演奏)	創作発表	20年以上	<p>以下、仙台市さんに直接関係することではないかもしれませんが・・・。</p> <p>私が東京から仙台に移住し、遠隔地でリモート業務(東京の出版社をメインにした仕事)を始めたのは20数年前になりますが、その頃に比べると、漫画家を含む文筆家が地方で仕事をする事への物理的、技術的な課題はかなり低下したと実感します。</p> <p>その中で現在も悩ましく感じているのは、地元の方々から気軽に「イラストを描いて」「漫画を描いて」と頼まれることです。(これは音楽家の方も同じかと思います)</p> <p>地元のためにお役に立つ機会と考えると、こちらとしても光栄ですし、同時に断りづらくもあるので、できる限りお引き受けしますが、制作費が無償でのご依頼は今でも少なくありません。(以前に比べると少なくなりました)</p> <p>このような問題は、個人の方からのご依頼だけでなく、NPO、公的組織でも珍しいことではありません。ゼロから生み出す作家が制作に要する時間、それまでの技術獲得までの年月を軽視されることは残念でなりません。この点が改善されるだけでも、地元に残って(または地方都市へ移住して)創作活動や仕事をする作家が増えるのではないかと思います。</p>	「仙台人としてのアイデンティティー」をより強く感じる文化芸術活動のご支援をお願いしたいです。個人的に3つの伝統芸能団体に笛演奏として関わらせてもらっていますが、仙台には素晴らしい民俗芸能団体が多く存在しているものの、どの団体も継承者不足で存続の危機という課題を抱えています。民俗芸能団体自体も体制の見直しが必要なことは言うまでもありませんが、外からの支援が不可欠であると痛感しています。それぞれの地域に昔から脈々と伝えられてきた民俗芸能は地元のソウル(魂)だと感じます。そのような活動を途絶えさせないために、特に芸能に必要な物資の支援、人的支援などの重要性について、改めてお考え頂きたいと願っています。	<p>(1) 移住者として感じるのは、仙台らしさを根底にした文化事業がもっと増えてほしいということです。仙台らしさとは何か?ということをして全ての市民が改めて考えてみる必要も感じます。(現在はどこにでもある地方都市の一つという印象が強く、せっかく素晴らしい文化を有している都市なのにもったいないとも感じます)</p> <p>(2) 前述の対価の問題について。民間企業と同じく、無償有償の別、制作費を依頼時に明確に伝えて頂きたいです。</p>
66	文化財の保存・活用のための支援	その他:未指定文化財を災害その他消滅の危機から守るための市民協働	10年以上20年未満	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の「未指定文化財」を災害から守る活動をしている。当該部門での公共的対応の不足(人員・経費)を、NPO事務局のある大学の人員や経費で補う形で運営してきたが、人員面では学生の減少、経費面では競争的資金への偏重にともなう基礎経費の不足によって、活動維持の困難に直面している。 ・救済保全した文化財の安定的な保管場所。高齢化や価値観の変化にともない、自家での文化財保存を断念する所蔵者からの問い合わせが相次いでいる。当座の消滅の危機を凌ぐことは本団体の活動でなんとかかなっているが、恒久的な保管場所は用意できず、結局消滅する可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保存の観点からは、安定した保管場所の確保。 ・経済的観点に加え、高齢化社会を見据えた福祉や、まちづくりなど隣接する可能性のある分野との協業による文化遺産の「活用」。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民参加」を、「やりがい搾取」に陥らせないような、予算面を中心とする制度的な支援。 ・私文書を排除している、仙台市公文書館の保存対象の見直し。 ・行政側の専門的知識を持った人員の拡充。仙台市史編さん室を引き継いだ仙台市博物館普及室の職員がほとんどが、専門的な知識を持ちながら会計年度職員に留められていると聞いている。旧仙台市史での調査成果を多分野で生かすために、同室の積極的な位置づけが求められる。

No	活動のジャンル	活動の役割 (2つまで)	活動期間	【問1】活動に際して、課題と感じていることについて教えてください。	【問2】仙台市が今後、文化芸術面で力を入れるべきと思うことについて教えてください。	【問3】仙台市の文化施策に関するご意見、ご要望などについて、ご自由にお書きください。
67	文化財の保存	技術提供	20年以上	踊り手は子供だが、少子化で後継者不足。	現在、文化財保護補助金の交付を受けているが、継続をお願いする。	
68	地域資源としての歴史文化史資料の収集・保存・活用・研究	企画制作 教育研究	20年以上	少子高齢化による会員・協力者の減少及び活動資金の枯渇	仙台市職員の文化芸術に関する意識の低さ（文化的素養の低さ）の改善が第一であり、市内に仙台市で掲示・広報している事象・説明解説等の誤謬の訂正（他地域・他国から訪れた人々に教養の無さを笑われますので、早急に行ってください）	上記の記述に尽きます。
69	文化財の保存・活用のための支援	創作発表 企画制作	5年以上10年未満	指導後継者の養成と高年齢化	演技を披露しながらの他団体との交流に予算を付けてほしい。	
70	文化財の保存・活用のための支援	創作発表 その他： 地域の伝統芸能継承	20年以上	昭和35年に県の無形文化財の指定を受けてから活動の中止と再興を繰り返しました。 家々の継承→地域内の主婦の募集による再編成→サポータークラブとの連携と携わる人々も形を変えてきましたが、地域の暮らしに入り込んでいた時代の踊りから、観客のためのステージ発表に移行していくなかで、昭和の演目（長尺）は切り取られていき、それゆえに現在は保存会といえども”借り物”（仮者？）意識が強いことが、後進の指導や活動継続への情熱減退にも関わっていると思います。 ・〈保存会〉という枠組みの意味 何を保存するのか 芸態？ 継承者の資格？ 地域で行われるの今の芸態 ・何を”〇〇の田植踊”と称していいのか ・伝統芸能でなく民俗芸能ならば時代を映して変わるのもありなのか ・地域に新住民が一気に増えたこともあり、神社⇄氏子の関係が変わってしまったのだが、米作りが盛んだった地域性や歴史を垣間見せる田植踊が（昭和の頃のように）神社と住民を結ぶ役割の一端となり、練習やお披露目でも神社という場をお借り出来たなら・・・と思いますが、いろいろな意味で今は難しいです。	文科省の指導要領の多さや子どもの多様さ、先生の不足など、人数の多い学校ほど学校独自のカラーや試みを出す余裕がないように感じます。芸能とこどもの親和性は非常に高いと経験上思うのですが、〈成績や点数のつくものでない〉芸能分野こそ、しかもそれが地域の歴史や文化を担うものこそこどもたちの身近に触れられる存在で環境であって欲しいと思います。 例えば、 *児童館や学校に地域の文化芸能に携わる人々が気楽に入り込める仕組みを作る。 *児童館や学校近くに人材センター兼茶飲み広場のよう場所（→定年後の方々や文化芸術に携わる方、興味ある方、きっかけが欲しい方、おしゃべりしたい方、したくない方、つまり誰でも立ち寄れる場所）に肩書をとった個人の特技や経験を登録していただく。SNS時代ではあるけれど可視化できる情報も張り出す。 地域の大人とこどもたちを芸能・文化芸能で結び多世代、新旧住民の交流が出来る仕組み、仕掛けを。総合支所、市民センター、図書館、社会福祉協議会、児童館、学校、社会学級、地域支援本部、とそれぞれが懸命に働いてきたにも拘わらず、相互の情報の流通があまりにも少なかったのがもったいない所だと思います。 新住民にとって町内会や子供会の意味を説くことが難しくなっている今、それでもよそのおじさん、おばさん、お年寄りの温かい目がこどもたちの育ちには大切だと、そのツールには芸能がありがたい存在なのだと考えるこの頃です。	日立システムズホールのパフォーマンス広場のような楽器やダンスが出来る公園のようなフリー空間（青空でも）が市内各所、学校の近くにあるとありがたいです。